

行政手続きのDX

人材育成・確保

デジタルガバメント

サービスデザイン

デジタルデバйд

新技術活用

スマートシティ

デジタル予算

1. 都市基礎データ

国名	都市名	人口	面積
アメリカ	ネバダ州ラスベガス市	65万人(2023年)	367.2 km ²

2. 取組内容

■ 取組の背景

- ラスベガス市政府は2016年頃より、2025年までにスマートシティのモデル都市となるという目標を掲げる。
- 2018年より、ラスベガス市はNTTとパートナーシップと組み、IoTセンサーを使用した都市の安全性の向上、交通渋滞の改善などのために同社ブランドのスマートソリューションの活用を開始。
- 2022年、NTTがラスベガス市のさらなるスマート化を図るための基盤となる市独自の5Gネットワークの開発を発表した。

■ 具体的な取組

- ラスベガス市政府は、米国で最大規模のプライベート5Gネットワークを展開するというビジョンを掲げ、企業や政府機関、教育機関が利用できるオープンなプラットフォームの構築を開発中。
- 市内のネットワークへのアクセスが不十分な地域でのブロードバンドアクセスや遠隔医療などのヘルスケアサービスへのアクセス、住民のための強固なコネクティビティの提供を目指す。

3. 関係機関

- ラスベガス市政府
- NTT
- Celona（P5G – ローカル・エリア・ネットワーク（無線LAN）の提供元

4. 取組の結果・効果

■ 今後期待される効果

- 開発が進むプライベート5Gネットワークラスベガスは、主に以下の分野において活用される予定。
 - ✓ プロアクティブな都市管理
都市の様々なIoTデバイスへの接続性を向上させ、運営を最適化
 - ✓ 自動化された交通管理
駐車センサーやライドシェアなど交通に関する機能を自動化
 - ✓ 平等な教育機会の提供
リモート学習環境を改善し、情報やサービスへの平等なアクセスを提供
 - ✓ ヘルスケアサービスの改善
一定の信頼性を担保しながら、住民へ遠隔医療を提供
 - ✓ 市政府の収益性の向上
ラスベガス市政府が5Gネットワークを所有・管理するため、市のニーズに合わせて投資を維持・拡大しながら収益を生み出すフレームワークとして利用

5. 東京都への応用の可能性（選定理由）

行政手続きのデジタル化から街のスマート化まで都のDX施策展開の基盤整備を官民学が連携して進める先進事例として参考となる。

6. 参考URL

World Population Review
[\(Las Vegas, Nevada Population 2023 \(worldpopulationreview.com\)\)](https://www.worldpopulationreview.com/countries/las-vegas-nevada-population-2023)
 Forbes [\(NTT Helps The City Of Las Vegas Get Smart \(forbes.com\)\)](https://www.forbes.com/sites/forbes/2022/08/01/ntt-helps-the-city-of-las-vegas-get-smart/)
 Celona [\(The smartest city yet: The largest private network in the US \(celona.io\)\)](https://celona.io/blog/the-smartest-city-yet-the-largest-private-network-in-the-us/)